



2024年5月7日

各 位

会社名 株式会社カチタス  
代表者名 代表取締役社長 新井 健資  
(コード：8919 東証プライム)  
問合せ先 取締役管理本部長 横田 和仁  
(TEL 03-5542-3882)

## 2024年3月期通期個別業績の前期決算数値との差異に関するお知らせ

当社は、有価証券上場規程第405条第3項の定めに基づき、当期の個別売上高及び個別当期純利益がそれぞれ増減基準を超えましたので、2024年3月期連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）通期個別業績の前期決算数値との差異について下記のとおりお知らせいたします。なお、当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては、前期実績値との比較になっております。

記

### 1. 通期個別業績の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前期実績(A)	81,802	11,048	10,912	5,469	70.63
当期実績(B)	89,149	10,654	10,426	7,247	93.17
増減額(B-A)	7,346	▲393	▲486	1,778	—
増減率(%)	9.0	▲3.6	▲4.5	32.5	—

### 2. 差異の理由

当事業年度は、低価格帯の住宅を提供するなどの販売方針により、お客様のニーズに合った住宅を提供することで販売件数が5,535件となり6.3%増加いたしました。また、原材料価格の上昇等のコスト負担の増加に伴い販売価格を見直した結果、販売単価も上昇し、売上高は前事業年度に比べて増加いたしました。

前事業年度は、国税当局に対する裁判の第1審判決での敗訴に伴い、2022年3月期と2023年3月期の2期分を消費税等差額として2,984百万円の特別損失及び法人税等還付税額（法人税等の減額）として368百万円を計上しておりました。一方、当事業年度は当社の会計処理と国税当局が主張する計算方法との乖離する金額を算定し、消費税等差額として販売費及び一般管理費に1,714百万円を計上した結果、販売費及び一般管理費が前事業年度比23.7%増加いたしました。2期分を計上した前事業年度に比べて当事業年度は1期分であることから消費税等差額の影響額が減少し、当期純利益は前年事業年度に比べて大幅な増益となりました。

以上